

## 100人アンケート 第2回「固定電話について」

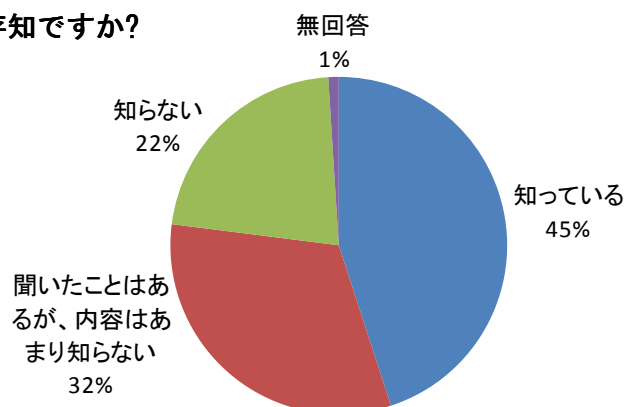
実施期間 2011年10月20日～31日

配布数 100

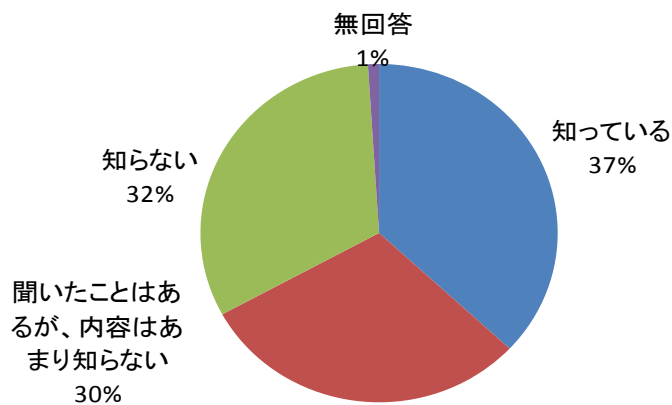
回答数 96

回答率 96.0%

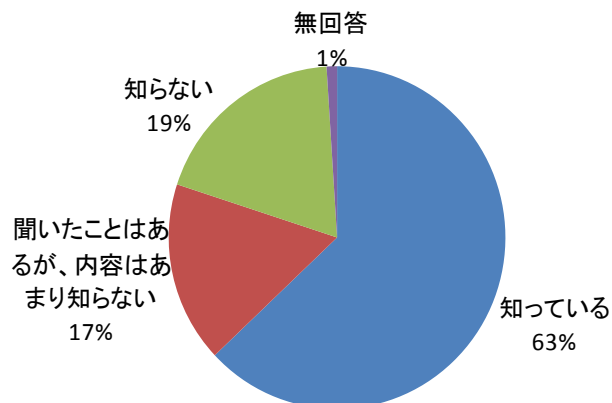
Q1. あなたは、固定電話から携帯電話にかける場合、会社によって通話料金が異なっていることをご存知ですか？



Q2. 固定電話から携帯電話にかける際、識別番号(例えば、NTT 東日本では「0036」)を最初につけると料金が安くなるサービスがあることをご存知ですか？



Q3. 停電時には、固定電話が一部を除き利用できないことをご存じですか？



## 【まとめ】

今回のアンケートでは、固定電話から携帯電話にかける際、識別番号を最初につけると料金が安くなるサービスは、6割以上の方が「聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」「知らない」と回答しています。料金が安くなるサービスがあるのに、消費者にあまり知られていません。

停電の際には、固定電話は電源を使用しない電話機などを利用してアナログ電話を利用している場合を除き、基本的に利用できなくなります。電源を利用することで便利になった電話機ですが、停電の際には逆に不便になったともいえます。

携帯電話が普及し、固定電話から通話することが少なくなりましたが、FAX や緊急用に利用しているという意見を多くいただきました。一方で、料金体系などサービスが複雑だという意見も寄せられました。消費者が用途に応じて通信サービスを主体的に選ぶことができるよう、より消費者目線に立ったわかりやすいサービスの説明と提供が望まれます。

## ●会社識別番号について

普通、通話料は発信元の会社が決めて、着信先会社に発信元の会社が接続料を払います。しかし、携帯電話の場合は、料金決定権が携帯電話会社にある仕組みとなっています。そこで、識別番号を最初につけて発信することで、発信元(固定電話会社)に料金の決定権を与えます。

固定電話から携帯電話にかける場合は、「0036」などの「会社識別番号」をつけると会社識別番号(固定電話会社)が決定した料金、つけないと携帯電話会社が決定した料金となります。

(例)NTT 東日本固定電話から平日昼間に1分間通話した場合(平成23年12月現在)

	通常料金	0036 をつけて通話した場合
NTT ドコモ宛	30 円(税込 31.5 円)	16 円(税込 16.8 円)
au 宛	30 円(税込 31.5 円)	17.5 円(税込 18.375 円)
SoftBank 宛	40 円(税込 42 円)	17.5 円(税込 18.375 円)
EMOBILE 宛	30 円(税込 31.5 円)	16 円(税込 16.8 円)

参考：NTT 東日本 固定電話発・携帯電話着 0036 通話サービス

[http://www.ntt-east.co.jp/0036/index\\_a.html](http://www.ntt-east.co.jp/0036/index_a.html)

同様のサービスは、NTT コミュニケーション「0033」、KDDI「0077」、ソフトバンクテレコム「0088」などとなっています。

### ※固定電話について、ご意見・ご感想など

- ・昔と違って電話会社がいくつかあり、契約している会社によって料金が違ってくるのは仕方がないことなのかもしれません。でも同じ会社の回線なのに識別番号をつけるかつけないかで料金が違ってくるのはどういうことなのかわかりません。
- ・昔の黒電話など古い機種では電話回線からのみの電力で通話できるというのは素晴らしい機能であり、最近の電話が安易にその利点を放棄しているのは本当に残念だと思っています。私は今でも緊急用に古い電話を保管しており、震災時にはひさびさに利用しました。
- ・サービスが複雑でよくわからない。
- ・我が家では、固定電話のベルが鳴るのは、不動産やら墓地の勧誘などのみで、発信も限りなくゼロに近い状態です。周りでも、固定電話は、解約という家庭も増えているようですが、料金が安くなる方法等があるのであれば、もっとPRすべきと考えます。
- ・条件によって電話料金が変わるようですが、各社の詳細を一覧して選択できると良いと思います。停電時は携帯電話を使うにしても、不便です。停電しても一定時間は使える固定電話があると良いですね。
- ・日常的には携帯電話で用件は済んでしまいましたが、長電話するときなどは固定電話から固定電話にかけられるようにしています。固定電話と携帯電話の通話の場合、料金に違いがあることはよく知らないし、知らされていないと思いました。